

# 支部だより

平成 30 年 4 月  
第 75 号

平成 30 年 新年度を迎えて

陽気と春の気分に誘われ、散歩に出かけました。3月下旬からの好天に恵まれて今年も桜の花がきれいに咲いています。どうか入学式まで花散らしの嵐が来ないように願いました。

桜を眺めながらその下を歩くと、あ・・新しい生活がこれから始まる。今年はどうな出会いがあるのだろうと、初詣でとはまた違った気分になります。

さて、少子超高齢社会に入り、リタイヤ等を理由に会を辞める方が増えることが予想されています。その一方で、新規入会者が伸びない現状があります。日本の人口そのものが減少していく中で、会員の減少は避けられないことだと思います。今後の会勢発展は会員規模に頼らず、私たち一人ひとりの行動によって培っていかねばなりません。昨年、節目の第 60 回建築士会全国大会が京都で開催されました。加古川支部も青年部会が活動報告を行い、多くの仲間が大会に参加しました。今年度も支部では、会員の方々の資質向上、社会貢献等による地位向上を目指して一緒に頑張りたいと考えています。ご支援をよろしく願います。

(副支部長 小西 敏文)



尾上公民館『子供チャレンジ』の様子

## 平成 30 年度 第 55 回 加古川支部通常総会

通常総会は、4月21日(土) に開催されます。

場 所：兵庫県東播磨生活創造センター  
(東播磨県民局) 会議室 A・B  
079-421-1136

総 会：18:00 より (受付は 17:45～)

懇親会：19:00 頃より  
プラザホテルボールルーム (1 階)  
(会費 4,500 円)

※ 同封の出欠はがきを 4月13日(金)までに  
投函してください。

※ 出欠にかかわらず委任状は返送願います。

## 「ボウリング大会～新年会」 のご報告

松飾りも取れた 1月20日、加古川支部の新年会に参加しました。

当日は天気も良く、新年会は改装工事で昨年は開催されなかったボウリング大会から始まりました。参加者は皆、2年ぶりのボウリングに懐かしさと内なる闘志を見せながら、少しの不安と大きな期待をボールに乗せてレーンに向かっていきます。

その後ろ姿を眺めているとボウリングほど、その人の個性が現れるメンタルなスポーツはないと思いました。綺麗なフォームで確実に得点を上げる人、がむしゃらにピンに向かう人、こだわりと目標に挑戦している人、各人各様の個性が現れます。



メンタルは、連続ストライクやスペアを取った次の大事なフレームで、心の中の見えざる力が指先を狂わせてボールはあらぬ方向に。背中に視線を感じれば感じるほど、心はざわつき見えざる力は大きくなるのでしょうか、振り返ったその表情は、個性的で面白い人ばかりです。結果はともかく皆、楽しい時間を持つことができました。

場所を加古川駅前に移して、都合でボウリングに参加できなかった人とも合流して新年会開始。ボウリングの結果発表で盛り上がり、恒例のビンゴゲームでまた盛り上がる。ここでも楽しい時間を持つことができました。

ところで話はかわりますが、最近の建築士の試験は昔と比べて随分難しく、なかなか合格できないそうです。時間をやりくりして勉強、やっと合格して建築士になったら、以前にも増して仕事に追われる毎日。なりたくて、やりたいことがあって建築士になったのだから、それはそれで楽しく、苦にならないことだと思いますが、建築士になってそれだけというのは少し寂しいような気がします。

ここで質問、人生を楽しく、豊かにする3つの間があることをご存知ですか。それは時間、空間、仲間だそうです。言われてみればなるほどですが、新年会に限らず支部の行事や事業に参加すると、特別な仲間と時間、空間を共有し、楽しくなれる。ありがたいことです。

もっと仲間を増やしてボウリングが楽しい支部にしたいものです。

思いつくまま感じたことを書きました。

最後にお礼をひとこと、新年会を企画、準備していただいた役員の方には色々お世話いただき、本当にありがとうございました。

(副支部長 小西 敏文)

## 「尾上公民館子供チャレンジ教室」 のご報告

去る2月10日、尾上公民館の事業を建築士会で担当させていただきました。

私は当日、子供たちの先生という役割を受け教壇に立たせて頂きました。全7回行われるプログラムの内、建築士会で担当したのは第6回でした。この回の趣旨としては、子供たちに木に触れてもらい、デザインや建築の分野に興味を持ってもらうということを目指して行いました。参加者は小学1年生から5年生までと年齢の幅が広いので、どのようなことが私たちにできるか、とにかく安全かつ楽しいものとなるよう青年部のメンバーとアイデアをひねった結果、合板に自分の好きな図案を書いてもらい、カット・飾り付けをやってもらうということになりました。サンプルをいくつか作成し、事前に200角にカットした合板と例年フォルザの木工教室で使用している飾り付けの材料を持ち出して当日を迎えました。



生憎の雨天だったものの、登録者 45 名の内 35 名の子供たちが参加してくれました。当日は支部長をはじめとする士会員 8 名（内青年部会から 3 名）尾上地区社会教育・福祉教育推進員の方が 4 名、合計 12 名にて教室を実施しました。

尾上公民館の中島さんと矢幡支部長の挨拶に始まり、教室がスタートします。私たち大人としては、シンプルに手鋸でカットしたものを作ってもらう想定でしたが、さすがは発想豊かな小学生、星形はまだ良いとして動物やギザギザや複雑な図柄で本当に自由気ままなものでした。

低学年については、基本的にカットする作業は安全を考慮して、私たち士会員で行うこととしたのですが、想定外の図柄にてんやわんやでした。松本さんの急ぎよ持ち込みして頂いたジグソーがなければ対応しきれなかったことでしょう。

（松本さんありがとうございます。）高学年は自分たちで手鋸を使ってカットするところから始めて作成していました。

カットが終わると、やすりでバリを取ってもらい、銘銘で飾り付けをしてもらいました。時間が余ってしまう早い子もいれば、じっくりと時間をかけて仕上げる子もあり、それぞれ子供達の持ち味を見ることも楽しいものでした。

最後には自分たちの作品を挙手制で自己採点をしてもらいましたが、概ね満足～大満足の評価で、本当に楽しんでくれたようでした。

最後に小西副支部長の挨拶で締めくくりとなりました。制限時間が 1 時間半と非常に短い中でしたが、子供たちにとっても、また私たち大人にとっても有意義な体験ではなかったかと思えます。貴重な時間を割いてお手伝いをして下さった皆様、お疲れ様でした。

今回は 7 月の夏休み工作のお手伝いと決まったようです。青年部の定例会議では早速その企画検討が始まっています。この子供たちが建築の分野に進み、建築士会員になる日が来るかもしれません。皆さんからのご提案やお手伝いのお申し出をお待ちしています。どうぞ今後もよろしくお願ひ致します。

（青年部副副会長 金尾 祥吾）



播州弁ラジオ体操・播州弁ラジオ体操の歌の CD が出来ました！

平成 29 年度高砂市市民提案型地域協働推進事業「夢のシロ」事業の助成金を頂いて播州弁ラジオ体操の歌を播州一さんに作って頂き、平成 28 年度に作った播州弁ラジオ体操の音声を少し修正し直したものと合わせて、新たに CD を作りしました。

もともこの事業は、『市民全般の体力低下、こと子どもたちの体力低下や老年医療の増大など、健康増進に向けた取り組みは急務といわれている中、楽しみながら、日々体を動かすラジオ体操への注目が高まっている。このコンテンツを使い、市民総出でラジオ体操に取り組み日々の健康を増進する社会をめざしたい』という想いで作りしました。

この事業は、『播州地域の中で播州弁を使い、ラジオ体操を行おうという試みを実施し、コンテンツ化したのは、当団体だけであり、播州を代表するコンテンツとして、高砂から発信するという発想を持って活動している点。播州弁検定を実施している加西市からもコンテンツを使わせてほしいという依頼が来るなど、播州弁ラジオ体操＝当団体という認知が広まっている点。また、様々な団体、企業をはじめ、子どもたちから高齢者までコンテンツを発信できる協力団体を有している点』に独創性があると思っています。

そんな CD をご希望される方には総会等でお配りいたします。是非会社で自宅でご使ってみてください。

また、平成 30 年度は、高砂町からのご当地の紹介ビデオと播州弁ラジオ体操をミックスさせる形でご当地たかさご観光ビデオとして、撮影する予定にしています。

（播州弁ラジオ体操普及委員会 高橋賢吉）





## 「見せたい写真ありませんか」 本部HPに載せます。

兵庫県建築士会ホームページの内容を豊かに  
する企画です。

この夏、加古川支部会員に写真のページを頂け  
ることになっています。写真データを頂ければご  
相談のうえ、本部へ提出いたします。

皆様、ぜひぜひ支部長アドレスまでお寄せ下さ  
い。

(広報委員長 吉備 考司)

---

## 連絡書

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

(公社)兵庫県建築士会加古川支部事務局  
〒676-0002 高砂市末広町4番1号 株式会社貝塚工務店内  
TEL 079-443-1230 FAX 079-443-7474



矢幡支部長連絡先 090-3656-9708 kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp

# 支部だより

平成30年10月  
第77号

秋冷の候、会員の皆様方に於かれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は加古川支部事業活動へ格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

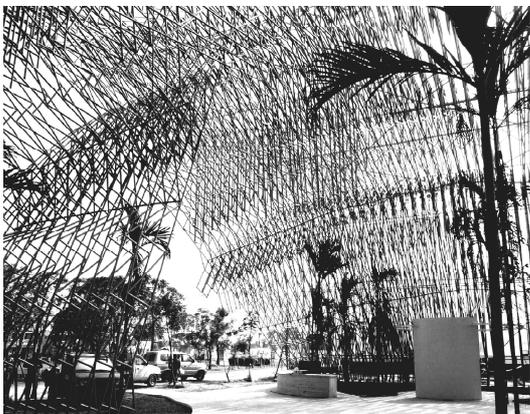
この夏は幾つもの台風上陸の影響を受け、慌ただしく過ごされた会員の方もおられることと想像されますが、ここにきて朝夕もめっきり冷え込みがきつくなり、季節の移ろいを肌で感じているところです。

私たち建築士会加古川支部は平素の業務の中、研鑽や親睦の機会を企画し、理事会と委員会を重ね、会員の皆様に情報提供しています。講習会、研修会や研修旅行のご案内、難しくお固いだけではなくお酒を酌み交わしながら親睦を深める機会等もあります。この「支部だより」も担当メンバーが集まり建築情報やら支部情報の取材をまとめ季刊誌として発行しています。建築士会の最新情報満載ですので是非とも隅々までお目通しいただき研修会等へご参加いただき皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

先にも述べましたが季節も進み、インフルエンザがどうこうとニュースになる頃となりました。くれぐれもご自愛のほど。

(副支部長 秋田 克司)

ええはなしゃん 第56回より



雲林農業博覧会 ファッション・ランウェイ 2013年竣工  
意匠設計：邱文傑建築師事務所  
構造設計：富田匡俊 + 鴻通工程顧問有限公司

## 平成30年度(公社)兵庫県建築士会 「篠山のまちを巡る見学会」 のご案内

加古川支部では、篠山城を中心とする城下町から現代社会へ変遷してきた街並みを見学する企画を立てました。

篠山には河原町妻入商家群・武家屋敷群・篠山城跡(大書院)など多数の歴史的伝統建築物があります。見学会では改修現場、保全利活用の状況などを見学します。また、昼食は城下町「丹波篠山」で四百年の伝統を伝え、訪れる人をやさしく迎える料理旅館「近又」でご馳走をいただき、内部見学も行います。

私達はこの見学会で歴史と環境、まちなみ保全との関係性をもう一度見つめ直す機会にしたいと考えます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

**開催日** 平成30年11月10日(土曜日)  
**集合** 午前7時30分 JR加古川駅改札前  
**見学先** 池本家離れ改修現場・河原町妻入商家群・武家屋敷群・篠山城跡(大書院)・青山歴史村(桂園舎)改修現場・西町ブリキ製作所

**募集人員** 15名

**参加費** 6500円(非会員 7000円)

参加費には、交通費、昼食費、入館料が含まれています。

**行程**

7:30 集合 JR加古川駅改札前  
7:49 発 宝塚線快速・篠山口行に乗換え  
9:43 着 篠山口駅(タクシー分乗)  
10:00 河原町妻入商家群入口 西側駐車場  
12:00 昼食・近又内部見学  
13:30 青山歴史村  
14:15 西町ブリキ製作所、後自由散策  
15:30 篠山市役所集合(タクシー分乗)  
16:00 篠山口駅集合  
16:08 発 新快速に乗換え  
18:08 着 加古川駅 解散

**参加申し込み**

平成30年10月31日(水)までに

別紙参加申込書によりお申込み下さい。

(お申込みが募集人員に達した場合は、締め切ります。)

## 第 61 回建築士会全国大会(埼玉大会) への参加活動を支援します。

第 61 回建築士会全国大会(埼玉大会)が埼玉県大宮市で開催されます。

埼玉大会では「歴史に感謝 未来に約束」先人の知恵に感謝し子どもたちに明るい未来を約束するため、彩り豊かな生活と環境の創造をテーマに、各地の先進的な取組みや地域連携活動などが発表されます。

支部では、各地域で活動されている仲間と広く課題を共有し、交流していただけるよう全国大会(埼玉大会)に参加される会員の方を下記により支援します。会員の皆様には、ひとりでも多くの参加をよろしく願いいたします。

### 記

#### 全国大会(埼玉大会)

(1) 開催日 平成 30 年 10 月 25 日(木)  
~26 日(金)

(2) 会場 大宮ソニックシティ他

※ 全国大会(埼玉大会)に関する詳細、参加等については、日本建築士会連合会 HP の「建築士会全国大会(埼玉大会)」、「建築士 5 月号」のページをご参照ください。

#### 対象者

加古川支部会員

#### 支援内容

参加費用の一部、上限 10,000 円を補助します。ただし、応募者が 2 名を超えた場合は、20,000 円を応募者数で除した金額(百円以下切捨て)を補助します。

なお、応募者が加古川支部の他事業から全国大会参加に関する補助を受ける場合は、本補助額から他事業補助額を差引いた金額を本補助額として補助します。

#### 参加申込み

平成 30 年 10 月 24 日(水)までに、連絡・参加申込書によりお申込み下さい。

## “納涼懇親会” の報告

神戸支部青年委員の上野と申します。加古川支部の皆様とは事業などを通じて大変お世話になっております。去る 8 月 3 日に加古川支部の納涼懇親会という事でお誘い受け参加させて頂きました。20 数名の参加者があり、矢幡支部長をはじめ支部会員の皆様と和気あいあいと、また、普段接することの無い会員の皆様方と腰を落ち着かせ、じっくり近況や情報交換することができました。時間はあっという間に過ぎ、実に有意義な時間を過ごさせていただきました。普段は何かと忙しく

していますが、地元の加古川支部さん事業には何か時折参加させて頂いております。いつも快く受け入れて下さる加古川支部の皆様、深く感謝申し上げます。皆様の元気と活動力の本質を知る貴重な会に参加でき、有意義な経験ができたと思います。

また機会がありましたら喜んで参加させていただこうと思います。今後も何かの事業でお会いする機会があると思いますが、気軽に声をかけて下さい。今後とも支部会員の皆様方、どうぞよろしく願います。

(神戸支部 上野 和彦)

この度は加古川支部の青年部の方よりお誘い頂きまして、支部の懇親会へ参加致しました。

居住地が近く何かと加古川青年の皆さんの活動には参加させて頂いておりますが、いろんな方面への事業取組に頑張っておられ見習わなければいけないと思います。明石支部も青年層が少なく、部会として活動出来なくなっていました。

青年層の活動として、加古川支部からの声掛けで東播ブロックがまとまっていればと感じています。また、交流会に参加しますと、皆さんが頑張っておられる姿を見て負けないように頑張ろうと感じます。今回は、お誘い頂き有難うございました。今後共よろしく願います。

(明石支部 山本 幸治)

## 「尾上公民館子供チャレンジ教室」 のご報告

7 月 14 日尾上公民館主催による子供チャレンジ教室を実施しました。この活動は、学校では経験できない体験学習をテーマに、毎月いろいろな団体が実施しています。

夏休みということで木工教室を開催し手作りミニ黒板を作りました。夏休みの工作課題のお手伝いが出来たんじゃないかと思えます。

小学校の広報での呼びかけで 56 人の参加者が集まり、小学生の元気に振り回されてばかりでした。グループ分けしたものの作業ごとの進み具合や、グループごとの動きがうまくかみ合わないなど、こちらが考えていたよりとても難しい状況でした。最終的に予定時間を少しオーバーしたものの参加者全員がミニ黒板を完成させ、なんとか怪我も無く無事に教室を終えることが出来ました。

今回の活動は、尾上公民館の職員の方々や加印木材組合の方々の協力無くして出来るものではありませんでした。協力していただいた方々に深く感謝いたします。(青年部副会長 東田 洋一)

## 青年部情報 (青年部会)

### 加古川楽市出展

雨で残念な結果となってしまった加古川楽市出展。でも、頑張りました。今年の9月は天候に悩まされましたね。とにかく雨、台風で、仕事の現場も段取りが大変だったのではないのでしょうか。この支部だよりが届くころには、皆様の現場はおさまっているのでしょうか。西日本豪雨災害、閑空の水没もあり、自然の驚異を再認識した夏でした。

さて、加古川楽市。今回は9月の8日9日で、子どもたちにとっては夏休み明けの土日の開催で、夏休み気分がなくなってきたところに再び楽しいイベントということで、気分上々といったところだったかと思います。ところが、前述のとおり雨。開催が危ぶまれましたが結果としましては、1日目は何とか開催。2日目も午前中は開催しましたが、警報がでて午後からは中止となりました。

我々のブースでは、会員の子もたちやその友人の応援もあり、和気あいあいと開催できました。我が息子(8才)も、昨年より参加で、張りきって店番をやっておりました。我々おっさんが店先で宣伝勧誘するより、雰囲気の良い感じのお店になったように思います。売り上げは残念な結果となりましたが、でも、頑張りました。また来年、がんばりましょう。

楽市の 金魚すくいの接客で 息子は成長 父は楽する失礼しました。(島崎 淳二)

### ～ つながり ～

平成30年度 2級建築士設計製図講習会  
(青年部相談役 松本 有司)

学科試験の終わった当日の夜遅く携帯が鳴った。Tさんからだった。電話口から飛び出しそうに弾んだ彼女の第一声が飛び込んできた。「先生！図面描きにいけますよ♪」俺は心の中で小さくガッツポーズをとった。彼女との出会いは二年前の図面講習会。実務経験が受験資格に満たないが、来年の学科+図面試験に備えて受講したいとやってきた。「受講生と同じ講義内容を最後まで続けることが条件やで！」それは事前受講生ののんびりした雰囲気、鬼気迫る勢いで追い込まれている本講生のモチベーションを下げたくないための楔のつもりで念押しをしたのだが、約束通り彼女は一回の講義も休むことなく通い次年度の学科試験に挑んだ。そして昨年、念願の学科試験に挑んだ同じ日、同じ時間に電話をかけてきて「じゃんじゃい(先生)だめじゃした(だめでした)」泣きじゃくりながら話す彼女に「また来年頑張ったらえ

えがな」そう返すのが精いっぱいだった。後日聞いたところによると彼女が苦手意識を持っていた〈構造〉の科目で一点足らず敢え無く足切りに引っかけり不合格。今年度こそはと意気込んでいたが、独学で受験に備える彼女だが解決策が見いだせずにいると連絡があり、「講師たちが見たるから一回気晴らしに出ておいで」という誘い掛けに応じてやってきたTさんの問題集を、丁度図面受講中の理工学部出身の才媛Aさんが事もなげに構造計算を紐解いてレクチャーしてくれた。暗い表情でやってきた彼女は、みるみる間に「すごくよくわかる♪」と笑顔が出だした。横目で見ていた俺は受講生Aさんに「あのな～図面の試験終わって一息ついてからTさんに構造計算教えてくれへんやろか？」このド厚かましい頼みにAさんは「いいですよ～」と快諾してくれ、約束通りその後Aさんが転職になるまでの半年間、個人指導に尽力してくれた。総ての努力が実を結んで今年度、「先生！図面描きに行きますよ♪」の嬉しい報告に繋がっている。彼女は、もともと化粧品品のセールスをしていたという全く畑違いの暮らしの中からはたまたまモノづくりの楽しさに触れたことで、職業訓練校に通い建築関連の職業に就きそこから建築士を目指そうと奮い立ったのだそうだ。今現在は主婦・子育て・そしてフルタイムで働く女性である。ゆとりのある時間に制限のあるだろうと想像する生活をこなしながらのチャレンジだが、合格を勝ち取るためには課題も宿題も全受講生同じようにこなすことが求められる。弱音を吐かずに頑張ってきた彼女が試験前日の最後の講義の後、感極まったのか大きな目からみるみる大粒の涙が零れ落ちた。「今まで頑張ってきたんやから明日は、今ある知識と積み重ねてきたモンを全部出し切っておいで」と言葉をかけて見送った。

今年度も怒涛の講習会が終わり、講師一同腑抜けになったような気分であるが、12月の合否発表日に「先生♪合格しました♪」その報告が聞けることを心待ちにしている。毎年講習会を続けさせていただいていると、我々だけでは力及ばずの事があつたとしても受講生同志又は年度を跨いでの交流が深まり脈々と縁が繋がってゆく。そんな瞬間に立ち会えた時、やってきたことに嬉しさがこみ上げる。

かくして今年度も、一先ず無事に講習会を全うすることができた事に感謝を込めて今期生はもちろんの事、新旧の卒業生や日頃応援してくださっている方々のお顔触れを一堂に会しながらの懇親会の計画をしていますので、奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

懇親会日時 10月27日(土) 午後8時から  
ご参加いただける方は24日までに  
松本 090-3672-1431 までご連絡ください。

現在私は、台湾台北に住んで現地パートナーと一緒に建築物や橋の構造設計をしています。本籍を播磨町に置く私ですが、大学卒業後は東京にある構造設計事務所である構造設計集団<SDG>に勤務しました。2002 年から台湾物件の設計および現場管理のために常駐、台湾美人と結婚して 2007 年に現地法人を設立し、今に至っています。

台湾は日本同様、地震や台風の影響を大きく受ける地域で、中国語の話せる日本人エンジニアは重宝されているようです。近年では木質構造が注目を浴びており、日本での経験も生かしながら、高雄市ナマシャ区民権小学校図書館（2012 年竣工、台湾建築賞佳作）や台湾国鉄池上駅（2017 年竣工）などで、大断面集成材を用いた構造設計を行いました。特に日本の集成材は品質面でもコスト面でも、国際的に非常に競争力のある建築材料で、ここ台湾でも多くの日本製木質材料が輸入されています。近年では CLT を用いた建築・土木物件も出てきており、木質構造への期待が世界的な風潮であるというのが体感できます。

海外であるため、言葉も法規も日本とは異なりますが、数学と力学は全世界共通であるということと、日本の強力な技術力とのネットワークを持つという強みから、いろいろ苦しみながらも楽しんで設計活動を行っています。

全くの偶然なのですが、今年 9 月末に発売された「a + u」577 号で台湾特集がされており、私が台湾に行くきっかけとなった 921 地震博物館や蘭陽博物館、それに JSCA でも発表した雲林農業博覧会ファッションランウェイなどが掲載されました。ぜひ多くの人に、手に取って見ていただければ嬉しいと思います。（富田 匡俊）



台北市内湖区白石湖吊橋（龍骨吊橋）2010 年竣工  
意匠及び構造設計：富田匡俊+智全工程技術顧問有限公司

## 連絡・参加申込書

メールか FAX で送付してください。（郵便も可）

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。（個人情報保護法に基づき管理致します）

### 加古川支部見学会「篠山のまちを巡る見学会」

参加者氏名 及び緊急連絡先 \_\_\_\_\_

### 第 61 回建築士会全国大会（埼玉大会）への参加活動を支援します。

参加者氏名 及び緊急連絡先 \_\_\_\_\_

（公社）兵庫県建築士会加古川支部事務局  
〒676-0002 高砂市末広町 4 番 1 号 株式会社貝塚工務店内  
TEL 079-443-1230 FAX 079-443-7474



矢幡支部長連絡先 090-3656-9708 kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp

# 支部だより

平成31年1月  
第78号

謹んで新年のご挨拶申し上げます。

会員の皆様には、よき新しい年をお迎えのこと  
と思えます。昨年は自然災害、大阪府北部地震、  
西日本豪雨、大型台風襲来、北海道地震と次々自  
然が容赦なく平穏な日々を襲いかかってきました。  
我々としても、なすすべもなく事実を受け入れる  
ことしかできませんでした。

そんな中でも平昌五輪、将棋の最年少記録、サ  
ッカーW杯ロシア大会、女子テニスの快挙、メジ  
ャー新人王と日本人の活躍が随分と癒してくれた  
事と思えます。

2020年は、2度目の東京オリンピックが開催さ  
れ、2025年には大阪万博開催が決定して、輝かし  
い未来の盛り上がりを見せる中、人口においては  
減少が著しく、どの業界も人出不足が深刻になっ  
てきているのも現実です。

当士会も、若い人材の参加や活躍を大いに期待  
しつつ、公益社団法人として6年目を迎えようと  
しています。行政や地域から、昨年の大阪府北部  
地震でブロック塀倒壊の被害から、相談窓口の依  
頼を受け協力してまいりました。微力ながら地域  
に貢献、認識されてきている様に感じますが、ま  
だまだ建築士が身近な存在とはいえません。

公益事業として、建築士の製図講習会や見学会  
を開催し、一般の方々からもより多くの参加を募  
り、地域に密着した建築士会をめざし、なお一層  
会員の皆様のご協力をお願い致しまして新年の  
あいさつといたします。本年もどうぞよろしくお  
願いいたします。 (支部長 矢幡 稔)

## 「新年会&新春ボウリング大会」の お知らせ

今年もやってまいりました、平成最後のボウリ  
ング大会&新年会。今年も豪華景品を多数御用意  
させて頂いておりますので奮って、御参加の方宜  
しくお願い致します。 (厚生委員会)

日 時 : 平成31年1月26日(土)  
17:30より 受付  
17:50 ゲーム開始  
19:30 新年会開宴  
宴会余興 ビンゴゲーム  
豪華景品多数

会 場 : 「ニッケパークボウル」  
加古川市加古川町寺家町269-1  
tel (079) 427-8900  
新年会 「播磨御馳走屋 膳家」  
(JR加古川駅より徒歩1分)  
加古川市加古川町篠原町14-6  
カノコビル 3F  
tel (079) 424-2698

参加費 : 新春ボウリング大会 1,000円  
新年会 3,500円  
(非会員は実費となります)

当日連絡先 長尾 淳一 090-9216-2695  
080-8327-3880

平成31年1月21日(月)までに  
別紙参加申込書により申込みをお願いします。  
新年会のみでの参加でもOKです。

## 研修旅行篠山を訪れて

今年度の建築士会加古川支部の秋の研修旅行は  
2018年11月10日篠山市訪問となりました。なぜ  
『篠山』にだったのか。私は、今から約20年前こ  
の地を大先輩二人と訪れたことを思い出し、(その  
時の一つが料亭近又(きんまた)でした。今の皇  
太子殿下が滞在した旅館としてもとても有名な場  
所です。)加古川支部研修委員会でそんな昔話を  
している内に訪問先がまとまったという経緯で  
す。

加古川駅から篠山口駅までJRで行きますと約  
2時間、車ですと1時間と少しで行くことができま  
す。意外と遠いと感じます。しかしこの町は城下  
町、歴史があります。特産品もたくさんあって各  
地からの観光客があふれる町であります。

私たちは建築の専門家として来たわけですから、



『高砂市の市政だより』

歴史上の建造物を散策することになりました。ご報告の前に、町の様子と建物を詳しくご説明していただきましたボランティアガイドの方々、建築士会柏原支部の方々には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

現地集合でした。河原町入口にて 10:00 待ち合わせ、その後妻入り商家群を散策しながら地元建築家の方の改修現場において見学させていただきました。ここは篠山城築城の際に、城下町の整備がなされ、京への玄関口である河原町が最も早く着手されました。当時から代を重ねて住み続けてきた人も多く、5メートルから8メートルほどの狭い間口と、奥行きが非常に深い妻入りの商家が軒を連ねます。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、千本格子や荒格子、袖壁、うだつなどが往時の城下町の姿を今に伝えています。最近では、古民家を利用した新たな店舗も増えつつありますが、歴史的な町並みを眺めながらの散策をおすすめします。

その後篠山城跡にある大書院へ。ここは京の都から山陰・山陽に通じる要所であった篠山盆地。慶長 14 (1609) 年、徳川家康の命によって篠山城が築城されました。天下普請の城である篠山城は、その外観・内装共に絢爛豪華であり、一大名が自らの領国支配の拠点として築いた一般の城とは規模も性格も全く異なるものであった。篠山城内の数々の秀麗な建築物の中であって、一層その姿を輝かせていた二の丸御殿大書院は、平成 12 年に復元され、二の丸御殿庭園も平成 14 年に表面表示で再現されている。ただ、維持管理の経費について聞きますと問題山積との返答で心配になりました。

その後、料亭近又でランチです。ランチといっても懐石料理でちょっとリッチな気分です。この料亭旅館は一年先まで満室とかで感心している間もなく、空室のお部屋を見せていただきました。各室のコンセプトがあって三者三様、どの部屋もいい感じで過ごしやすい明るいお部屋です。一度皆様も宿泊されてみてはいかがでしょうか。20 年前にも見せていただいたのですが、昭和の匂いにする皇太子さまご宿泊のお部屋もリニューアルされていて、私の思い出が浮かんでこなかったのは残念です。お商売ですから致し方ありませんね。

・・・と、いつの間にか 13 時を相当回っていて皆様一喜一憂しながらでしたが次の場所へと移動していきました。

次は篠山市立青山歴史村です。ここも改修工事をしていました。現場に入ることは通常ダメなのですが、建築士会柏原支部のご厚意で入ることができ見学できました。

文化遺産を維持管理していくことの難しさをしみじみ実感した一日でした。

長い時間、篠山歴史散策され、おいしいものを食べて満喫されたであろうと思います。

皆様、お疲れさまでした。また本年もよろしくお願ひします。  
(林 友宏)



『二の丸御殿大書院にて』

## 第 61 回建築士会全国大会 さいたま大会に参加して

歴史に感謝 未来に約束

～今埼玉に集う彩り豊かな暮らしの創造～

今年も去年の十分に引続き全国大会に参加しました。全国大会は 10 月 25 日 (木) から 3 日間あって、その 2 日目がメインなのですが、その 2 日目から参加する人がほとんどです。私も 2 日目からでした。その日は午前 10 時からセッション、午後 1 時から記念講演、3 時から式典、5 時半から 7 時半まで交流会 (懇親会) という流れで進んでゆきます。そして次の日はエクスカージョンとしていくつかのコースに分かれて現地の名勝や建物、歴史的建造物を見学したりするのです。

さて、2 日目 (10 月 26 日金曜日) は 10 時までには会場のさいたま市大宮ソニックシティに到着したいと思い、新幹線か飛行機かどちらかで？と考えましたが、時間的には同じようなものだったので、費用の安い飛行機にしました。神戸空港発 7 時 10 分で羽田へ。そして東京から新幹線に乗り会場の大宮ソニックシティに 10 時 15 分前に到着しました。

10 時から始まる 9 つのセッションですが、私は空家まちづくりセッションに参加しました。兵庫県から奥田前まちづくり委員長が発表者として空家に対しての取り組みの話をしていました。この空家の問題は今後増々深刻化する問題だと思います。

午後からの講演会にも出席しました。講演者は京都大学の教授等数々の要職についている上田修功 (なおのり) 氏です。演題は「人工知能を活用した未来社会」というもので、そう遠くない近未来の生活や情報化の話でしたが、頭の固い私には理解しにくい内容でした。

3 時から始まった式典は、地元や連合会の会長のあいさつ、来賓のあいさつ、それに続いて表彰式 (連合会会長表彰、伝統技能者表彰、作品表彰) があり、最後に来年度開催県への引継式があります。来年は函館です。行ったことがない人は一度行ってみたいはどうでしょうか。結構楽しいものですよ。

固いのはここまでで、あとの交流会、次の日のエクスカージョンは本当に楽しませていただきました。私は川越市へのエクスカージョンに参加しました。題して「タイムスリップ気分！小江戸川越散策」です。しかし、何と人の多いことか。（日本人より外国人が）びっくりしました。

（宮宅 勇二）

## 建築士会全国大会 （埼玉大会）の報告

今年度の全国大会は埼玉県の大宮での開催でした。私は近畿建築士会協議会青年部会の運営委員のため、原則参加です。そして、建築士フォーラムは全国大会の前日である木曜日に開催されるため、水曜日の夜から東を目指して出発となります。

例年、車でひとりの旅のはずが今回は助手席にでかい人影が…

深夜の工事渋滞を避けつつ行きの道中、富士山に引っ掛けて日の出を見ようと時間調整したのですが、あいにくの雲…。残念ながら例年同様日の出を見ることなく埼玉入りとなりました。

最初の目的地は全国大会とは関係のない春日部市です。個人的に完成してからずっと見たかった首都圏外郭放水路の見学です。もちろん助手席のでかい人も強制参加です。圧倒されるスケールの中で、和歌山士会の青年委員さん達と楽しく見学してまわりました。それからは全国大会の会場に向けて、時間調整しながらゆったりと旅館にチェックイン、会場であるソニックセンターの館内に入るとすでに準備がなされていて、テンションが徐々に上がっていきます。

前日プログラムである全国建築士フォーラムは、『僕らが考える明日、10年後の建築士』と題して、10年後のありたい姿に向けてどのように意識を変えていくか等話し合っていきます。まあ、私は周りに影響されることなく色々ぶちまけてきました。

そして交流会、近畿出向メンバーをはじめとするキンキナイトと休む間もなく懇親会が続きます。

2日目は朝から受付を済ませ青年委員会担当セッションである地域実践活動発表会に出席しました。各ブロック代表からの活動報告を聞き、これはうちでもやってみたいと思う事業がたくさんありました。それにしても皆さんのプレゼンが上手いので話に引き込まれていきます。

午後からは飲食ブースで自然と交流会が始まります。その後、大会式典会場にて連合会会長表彰を受ける古田様、伝統技能者表彰を受ける松岡様とも無事お会いすることができました。その日の夜も色々な懇親会が開催されています。私は個別に飲み歩き、その後例年参加している「夜の全国大会」に参加しました。長野士会さんをはじめ、関東甲信越ブロックの方々と交流を深めることが

できました。こういった交流は全国大会でないと簡単にはいきません。

さて、3日目最終日は帰らなければならないのですが、少し寄り道して朝霞駐屯地内にある陸上自衛隊広報センターへ向かいました。装備品の展示も試作車のオンパレードとなれば行かないわけにはいきません。案の定、予定時刻をとっくに過ぎてしまいました。

寄り道しすぎて時間がないので往路とは違い東名高速で帰ります。さすがに新東名は速く快適です。もちろん安全運転です。それにしても静岡県は長い（笑）延々静岡県内でした。陽も落ち伊勢湾で夕焼けを望みながら予定より少し遅れましたが、無事に帰ってまいりました。助手席の山本企画情報委員長も疲れていたように思います。

今回の全国大会は『函館大会』です。結構距離はありますが飛行機なら速いものです。色々気付きもあると思いますので、ぜひ参加されてみてはとお勧めいたします。

（青年部会 阪口 晴彦）



『青年担当セッション 地域貢献活動発表会』

## 青年部情報（青年部会）

### 若い夢フェスティバル

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

去る11月25日加古川市役所にて行われた毎年恒例の若い夢フェスティバルに青年部9名で参加してきました。他支部からもお手伝いに来ていただきました。木工教室に参加してくれた子供は、総勢300名程度になり2t車一杯の木材があっという間に無くなりました。今回の端材は、(株)昭和住宅のプレカット工場からご提供いただきました。(株)昭和住宅のご担当者様ありがとうございました。また、今回日程が合わなく残念ながら不参加となった新入会員の某氏、参加してみようとお考えの士会員、是非ともお時間の都合の付く際には、青年部の活動を一緒にしましょう。青年部一同お待ちしております。

（竹下 孝行）

## 工楽松右衛門旧宅

## 保存改修工事を終えて

工楽松右衛門旧宅は、寛保年間に建築された伝統的木構造建築物で、通り庭と煙出しの越し屋根を持つ、厨子2階建ての商家住宅です。高砂出身の偉人の住まいを高砂町における地域力強化の拠点として整備活用し、併せて高砂の歴史文化を全国に情報発信する施設です。

痕跡調査において今日までの度重なる改修履歴を確認することができました。江戸から昭和初期に至る建物の変遷を如実に修復することで、工楽家の歴史を通して高砂に住まう人々の生活文化を具体的に浮かび上がらせています。市民にとって大切な歴史的建造物を次代に引き継ぐための工事といえます。それは文化的価値を維持し、そして高める工事でもありました。

工楽家旧宅と雁木や石積み護岸などの遺構は、北前船寄港地・船主集落として日本遺産に追加認定されました。加古川本流を巧みに生かした堀川運河。ここでは、姫路藩の主要港町として栄えた「計画都市高砂」の姿を見ることができます。是非一度足をお運びください。(吉田 文男)

## 加古川支部 編集委員会

## 三村真生委員を偲んで

長年にわたり支部活動、特に支部だよりの編集発行にご尽力をいただいております三村真生さんが昨年の12月20日夜、ご自宅で倒れられご永眠されました。

享年58歳、男性の平均寿命が80歳を越える現代において、あまりにも早い、そして突然のことでありました。

三村真生さんは昭和60年に加古川市役所に奉職され、以来33年にわたり建築営繕、まちづくりの分野で市政の発展に多大なご貢献をされました。

特にウェルネスパーク、見土呂フルーツパーク、野口小学校体育館、新クリーンセンターの建設では、設計から現場監理、竣工までを担当されました。平成15年から5年間は都市計画部開発審査課指導係長として開発許可行政を推進されました。その後は建築営繕事業一筋となり、その仕事ぶりは物静かで控えめですが、ひとつひとつ着実に進め、大木を支える根のようでありました。

平成28年に建設部営繕住宅課長となられてからは、公共建築物の安全・安心、長寿命化の推進に向け、職員の先頭に立って精力的に取り組まれておりました。

加古川市の幹部職員として公私ともご活躍を期待されていた方であり、哀切に堪えません。

慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

(小西 敏文)

## 連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

事業名	参加者 氏名(連絡先電話)		非会員 表記欄
	氏名	電話	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新年会 &amp;</li> <li>・ 新春ボウリング大会</li> </ul>			

(公社)兵庫県建築士会加古川支部事務局

〒676-0002 高砂市末広町4番1号 株式会社貝塚工務店内

TEL 079-443-1230 FAX 079-443-7474



矢幡支部長連絡先 090-3656-9708 kaizuka-yahata@shore.ocn.ne.jp